

第11期【償還】

運用報告書(全体版)

コモディティ・インデックスオープン

【2016年11月25日償還】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「コモディティ・インデックスオープン」は、2016年11月25日をもちまして信託約款の規定に基づき、繰上償還となりました。ここに設定以来の運用経過及び償還内容のご報告をいたしますとともに、皆様のご愛顧に対して改めてお礼申し上げます。

今後とも、弊社ファンドに対しまして、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（商品先物）	
信託期間	2006年1月27日から2016年11月25日（当初無期限）までです。	
運用方針	主として、コモディティ・インデックス マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券に投資し、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスが表す世界の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。 ※当ファンドでは、「Bloomberg Commodity Index」を「ブルームバーグ・コモディティ・インデックス」といいます。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	コモディティ・インデックスマザーファンド	ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	コモディティ・インデックスマザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年1月26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、分配を行わないことがあります。	

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様の負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ブルームバーグ・コモディティ・インデックス		為替レート (ドル / 円)		債券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率		
(設定日) 2006年1月27日	円 10,000	円 -	% -	ポイント 171.589	% -	円 116.33	% -	% -	百万円 2,332
1期(2007年1月26日)	9,945	0	△ 0.6	162.378	△ 5.4	121.59	4.5	94.0	3,884
2期(2008年1月28日)	10,253	300	6.1	187.675	15.6	106.84	△12.1	95.2	1,221
3期(2009年1月26日)	5,366	0	△47.7	113.235	△39.7	88.89	△16.8	93.3	331
4期(2010年1月26日)	6,441	0	20.0	135.109	19.3	90.41	1.7	95.4	547
5期(2011年1月26日)	6,733	0	4.5	158.117	17.0	82.20	△ 9.1	93.7	314
6期(2012年1月26日)	5,750	0	△14.6	145.601	△ 7.9	77.78	△ 5.4	95.4	204
7期(2013年1月28日)	6,449	0	12.2	140.647	△ 3.4	91.03	17.0	94.6	202
8期(2014年1月27日)	6,400	0	△ 0.8	127.002	△ 9.7	102.32	12.4	98.3	139
9期(2015年1月26日)	5,768	0	△ 9.9	101.131	△20.4	117.67	15.0	94.8	112
10期(2016年1月26日)	4,278	0	△25.8	74.496	△26.3	118.14	0.4	95.4	63
(償還時) 11期(2016年11月25日)	(償還価額) 4,271.16	-	△ 0.2	85.358	14.6	113.78	△ 3.7	-	124

(注) 基準価額は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本額です。設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

(注) ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。設定日のブルームバーグ・コモディティ・インデックスは現地2006年1月27日の終値、その他は当該日前営業日の現地終値です。

(注) 「為替レート(ドル/円)」は、対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ブルームバーグ・コモディティ・インデックス		為替レート (ドル / 円)		債券 組入比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率	(ドル / 円)	騰落率		
(期首) 2016年1月26日	円 4,278	% -	ポイント 74.496	% -	円 118.14	% -	% 95.4
1月末	4,391	2.6	76.105	2.2	120.87	2.3	95.6
2月末	4,175	△2.4	75.462	1.3	113.62	△ 3.8	92.2
3月末	4,297	0.4	78.929	6.0	112.68	△ 4.6	91.0
4月末	4,515	5.5	84.309	13.2	109.75	△ 7.1	93.3
5月末	4,539	6.1	85.468	14.7	110.94	△ 6.1	97.6
6月末	4,389	2.6	89.298	19.9	102.91	△12.9	98.2
7月末	4,178	△2.3	83.398	11.9	104.42	△11.6	92.7
8月末	4,116	△3.8	83.655	12.3	103.18	△12.7	93.0
9月末	4,120	△3.7	85.224	14.4	101.12	△14.4	95.4
10月末	4,275	△0.1	85.912	15.3	104.86	△11.2	-
(償還時) 2016年11月25日	(償還価額) 4,271.16	△0.2	85.358	14.6	113.78	△ 3.7	-

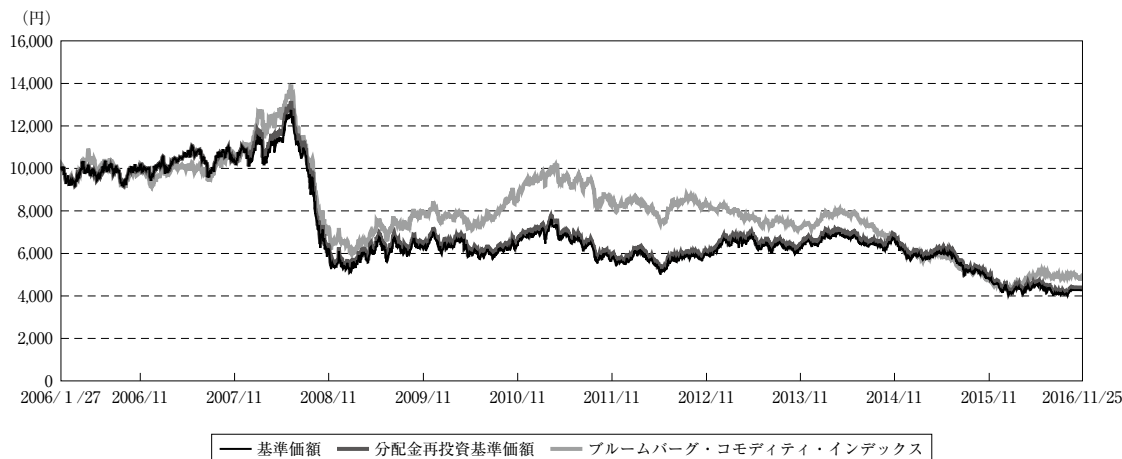
(注) 騰落率は期首比です。

ブルームバーグ・コモディティ・インデックスおよび「ブルームバーグ (Bloomberg®)」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー (Bloomberg Finance L.P.) およびその関係会社 (以下「ブルームバーグ」と総称します。) のサービスマークです。ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、ブルームバーグが算出し、配信するものです。ブルームバーグは、岡三アセットマネジメント株式会社の関係会社ではなく、当ファンドを承認し、是認し、レビューしたものは推奨するものではありません。ブルームバーグは、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。

設定以来の運用経過

設定以来の基準価額等の推移

(2006年1月27日～2016年11月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスです。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日（2006年1月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

設定以来の投資環境

(2006年1月27日～2016年11月25日)

コモディティ市場は、中国の経済成長を背景としたコモディティの需要拡大を受けて、需給引き締め観測が強まったことやインデックス投資を介してコモディティ市場に資金が流入したことから、2008年夏場にかけて急騰しました。しかし同9月に世界的な金融危機が発生すると、コモディティ市場からも投資資金を引き揚げる動きが一斉に拡がり、急落する展開となりました。その後は、各国政府・中央銀行による財政・金融政策から世界景気が緩やかに回復基調を辿る中、コモディティ市場も持ち直す動きとなりました。しかし、2000年代以降の需要拡大を牽引してきた中国の経済成長に陰りが見え始めると、コモディティ市場は需給緩和から再び下落基調となりました。2014年から償還日にかけては、米国のシェールオイルの増産などを背景に世界の原油供給量が増加する一方、需給の調整弁役となってきた石油輸出国機構（OPEC）がその役割を放棄したことを受けて、エネルギーセクターを中心に下値模索の展開となりました。

設定以来の当ファンドのポートフォリオ

(2006年1月27日～2016年11月25日)

当ファンドの主要な投資対象である「コモディティ・インデックス マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。

「コモディティ・インデックス マザーファンド」につきましては、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスが表す世界の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持しました。2016年10月19日には、コモディティ・インデックスオープンの繰上償還が決定したため、組入れていたユーロ円建て債券を全て売却し、その後はコール・ローンなどの安定資産による運用を行いました。

設定以来の当ファンドのベンチマークとの差異

(2006年1月27日～2016年11月25日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した設定以来の基準価額の騰落率は、参考指数としているブルームバーグ・コモディティ・インデックスの騰落率を下回りました。為替レート（ドル／円）が円高ドル安に振れたことや信託報酬などのコストが参考指数の騰落率を下回る主な要因となりました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年 1 月27日～2016年11月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	48 (23) (23) (2)	1.121 (0.538) (0.538) (0.045)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	10 (10) (0) (0)	0.241 (0.229) (0.011) (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	58	1.362	
期中の平均基準価額は、4,299円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年 1 月27日～2016年11月25日)

○ 売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
コモディティ・インデックス マザーファンド	175,890	84,600	308,293	145,788

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

○ 利害関係人との取引状況等

(2016年 1 月27日～2016年11月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年11月25日現在)

有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘柄	柄	期首(前期末)
		口数
コモディティ・インデックス	マザーファンド	千口 132,403

(注) 口数の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2016年11月25日現在)

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 125,395	% 100.0
投資信託財産総額	125,395	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2016年11月25日現在)

項目	償還時
	円
(A) 資産	125,395,951
コール・ローン等	125,395,951
(B) 負債	630,016
未払解約金	21,300
未払信託報酬	602,552
未払利息	382
その他未払費用	5,782
(C) 純資産総額(A-B)	124,765,935
元本	292,112,516
償還差損金	△167,346,581
(D) 受益権総口数	292,112,516口
1万口当たり償還価額(C/D)	4,271円16銭

- (注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.427116円です。
 (注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は167,346,581円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は147,553,957円、期中追加設定元本額は199,190,310円、期中一部解約元本額は54,631,751円です。

○損益の状況 (2016年1月27日～2016年11月25日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,109
受取利息	11
支払利息	△ 1,120
(B) 有価証券売買損益	△ 203,420
売買益	379,913
売買損	△ 583,333
(C) 信託報酬等	△ 1,254,716
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,459,245
(E) 前期繰越損益金	△ 33,244,925
(F) 追加信託差損益金	△132,642,411
(配当等相当額)	(6,793,633)
(売買損益相当額)	(△139,436,044)
償還差損金(D+E+F)	△167,346,581

- (注) 損益の状況の中で、(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2006年1月27日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2016年11月25日		資産総額	125,395,951円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	630,016円
				純資産総額	124,765,935円
受益権口数	2,332,550,000口	292,112,516口	△2,040,437,484口	受益権口数	292,112,516口
元本額	2,332,550,000円	292,112,516円	△2,040,437,484円	1万口当たり償還金	4,271円16銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	3,905,440,000円	3,884,031,735円	9,945円	0円	0.0000%
第2期	1,191,199,801	1,221,301,076	10,253	300	3.0000
第3期	617,401,065	331,310,376	5,366	0	0.0000
第4期	850,688,914	547,934,272	6,441	0	0.0000
第5期	466,503,595	314,075,776	6,733	0	0.0000
第6期	355,394,646	204,344,624	5,750	0	0.0000
第7期	313,833,518	202,390,919	6,449	0	0.0000
第8期	218,207,031	139,656,704	6,400	0	0.0000
第9期	195,435,081	112,733,153	5,768	0	0.0000
第10期	147,553,957	63,121,992	4,278	0	0.0000

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税引前）	4,271円16銭
----------------	-----------

＜お知らせ＞

・当ファンドにつきましては、「コモディティ・インデックス マザーファンド」（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が変動するユーロ円建て債券に投資をする運用を行っております。2016年7月末日現在、当該マザーファンドが組入れているユーロ円建て債券は1銘柄で、2016年11月30日に償還となります。当ファンドは、2014年12月1日に改正された「金融商品取引業等に関する内閣府令」第130条第1項第8号の2に基づき規定された、一般社団法人投資信託協会規則「投資信託等の運用に関する規則」第17条の2に定める「信用リスク集中回避のための投資制限」（1つの発行体への投資が過度に集中しないよう、分散投資を行う。）を遵守する必要があります。

しかしながら、ファンドの純資産額、金融市場の状況等から新たなユーロ円建て債券の購入、分散投資の実現が困難となっており、運用の基本方針に沿った運用が将来にわたって継続が厳しい状況となっております。また、ファンドの受益権口数が、投資信託約款の繰上償還に関する規定である10億口を下回る状態が継続しております。

こうしたことから、投資信託契約を解約し、受益者の皆さまからお預かりした運用資産をお返しが受益者の皆さまにとって最善であると考え、信託終了（繰上償還）の手続きを行うことといたしました。

上記の内容につきまして、2016年9月16日現在（電子公告日）の受益者の方を対象として、異議申立の受付を行いました。その結果、異議申立をされた受益者の受益権の合計口数が2016年9月16日の受益権総口数の2分の1を超えなかったため、2016年11月25日をもちまして繰上償還となりました。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

コモディティ・インデックス マザーファンド

第11期 運用状況のご報告

償還日：2016年11月24日

「コモディティ・インデックスオープン」の親投資信託「コモディティ・インデックス マザーファンド」は、2016年11月24日をもちまして信託約款の規定に基づき、繰上償還となりました。ここに設定以来の運用経過および償還内容をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券に投資し、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスが表す世界の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。
主要投資対象	ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資は行いません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ブルームバーグ・コモディティ・インデックス (参考指数)		為替レート (ドル / 円)		債券組入比率	純資産額
	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率		
(設定日) 2006年1月27日	円 10,000	% —	ポイント 171.589	% —	円 116.33	% —	% —	百万円 2,300
1期 (2007年1月26日)	10,046	0.5	162.378	△ 5.4	121.59	4.5	97.4	3,747
2期 (2008年1月28日)	10,752	7.0	187.675	15.6	106.84	△12.1	98.3	2,089
3期 (2009年1月26日)	5,451	△49.3	113.235	△39.7	88.89	△16.8	96.5	644
4期 (2010年1月26日)	6,636	21.7	135.109	19.3	90.41	1.7	99.2	1,091
5期 (2011年1月26日)	7,028	5.9	158.117	17.0	82.20	△ 9.1	95.8	711
6期 (2012年1月26日)	6,047	△14.0	145.601	△ 7.9	77.78	△ 5.4	98.4	393
7期 (2013年1月28日)	6,886	13.9	140.647	△ 3.4	91.03	17.0	95.9	277
8期 (2014年1月27日)	6,896	0.1	127.002	△ 9.7	102.32	12.4	98.9	220
9期 (2015年1月26日)	6,276	△ 9.0	101.131	△20.4	117.67	15.0	97.0	159
10期 (2016年1月26日)	4,680	△25.4	74.496	△26.3	118.14	0.4	97.2	127
(償還時) 11期 (2016年11月24日)	(償還価額) 4,742.97	1.3	85.358	14.6	112.43	△ 4.8	—	120

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 設定日の基準価額は1万円当たりの当初設定元本額です。設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

(注) ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。設定日のブルームバーグ・コモディティ・インデックスは現地2006年1月27日の終値、その他は当該日前営業日の現地終値です。

(注) 「為替レート (ドル/円)」は、対顧客電売買相場の当日 (東京) の仲値です。

ブルームバーグ・コモディティ・インデックスおよび「ブルームバーグ (Bloomberg®)」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー (Bloomberg Finance L.P.) およびその関係会社 (以下「ブルームバーグ」と総称します。) のサービスマークです。ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、ブルームバーグが算出し、配信するものです。ブルームバーグは、岡三アセットマネジメント株式会社の関係会社ではなく、当ファンドを承認し、是認し、レビューしまたは推奨するものではありません。ブルームバーグは、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

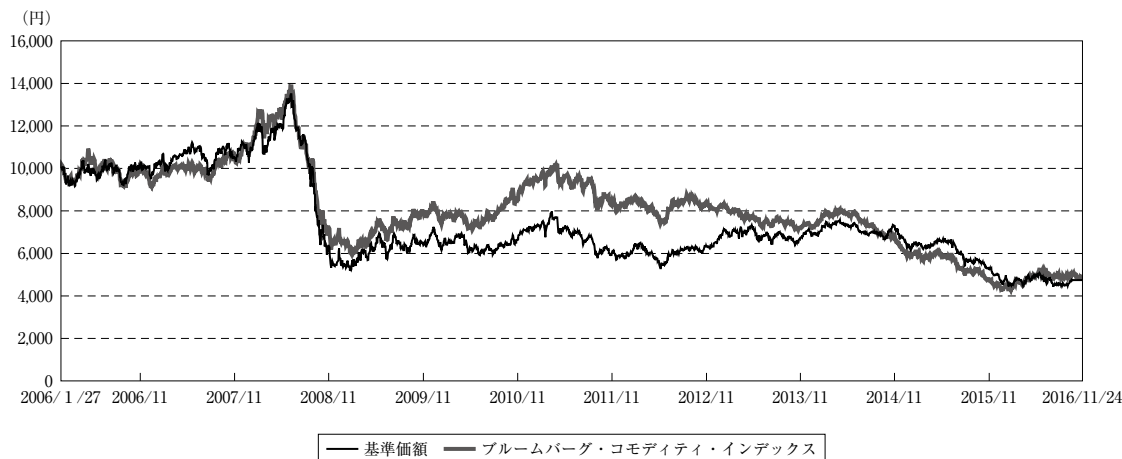
年 月 日	基 準 価 額		プ ル ー ム バ ー グ ・ コ モ デ ィ テ ィ ・ イ ン デ ッ ク ス (参考指数)		為 替 レ ー ト (ド ル / 円)		債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2016年1月26日	円 4,680	% —	ポイント 74.496	% —	円 118.14	% —	% 97.2
1月末	4,806	2.7	76.105	2.2	120.87	2.3	97.3
2月末	4,570	△2.4	75.462	1.3	113.62	△3.8	94.6
3月末	4,715	0.7	78.929	6.0	112.68	△4.6	93.8
4月末	4,982	6.5	84.309	13.2	109.75	△7.1	94.9
5月末	5,011	7.1	85.468	14.7	110.94	△6.1	99.2
6月末	4,847	3.6	89.298	19.9	102.91	△12.9	99.3
7月末	4,618	△1.3	83.398	11.9	104.42	△11.6	94.1
8月末	4,553	△2.7	83.655	12.3	103.18	△12.7	94.7
9月末	4,564	△2.5	85.224	14.4	101.12	△14.4	97.9
10月末	4,743	1.3	85.912	15.3	104.86	△11.2	—
(償還時) 2016年11月24日	(償還価額) 4,742.97	1.3	85.358	14.6	112.43	△4.8	—

(注) 騰落率は期首比です。

設定以来の運用経過

設定以来の基準価額等の推移

(2006年1月27日～2016年11月24日)



(注) 参考指数は、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスです。

(注) 参考指数は、設定日（2006年1月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

設定以来の投資環境

(2006年1月27日～2016年11月24日)

コモディティ市場は、中国の経済成長を背景としたコモディティの需要拡大を受けて、需給引き締め観測が強まったことやインデックス投資を介してコモディティ市場に資金が流入したことから、2008年夏場にかけて急騰しました。しかし同9月に世界的な金融危機が発生すると、コモディティ市場からも投資資金を引き揚げる動きが一斉に拡がり、急落する展開となりました。その後は、各国政府・中央銀行による財政・金融政策から世界景気が緩やかに回復基調を辿る中、コモディティ市場も持ち直す動きとなりました。しかし、2000年代以降の需要拡大を牽引してきた中国の経済成長に陰りが見え始めると、コモディティ市場は需給緩和から再び下落基調となりました。2014年から償還日にかけては、米国のシェールオイルの増産などを背景に世界の原油供給量が増加する一方、需給の調整弁役となってきた石油輸出国機構（OPEC）がその役割を放棄したことを受けて、エネルギーセクターを中心に下値模索の展開となりました。

設定以来の当ファンドのポートフォリオ

(2006年1月27日～2016年11月24日)

追加設定や解約に対応し、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスが表す世界の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持しました。2016年10月19日には、当ファンドを主要投資対象とするベビーファンドの繰上償還が決定したため、組入れていたユーロ円建て債券を全て売却し、その後はコール・ローンなどの安定資産による運用を行いました。

設定以来の当ファンドのベンチマークとの差異

(2006年1月27日～2016年11月24日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、設定以来の基準価額の騰落率は、参考指数としているブルームバーグ・コモディティ・インデックスの騰落率を下回りました。為替レート（ドル／円）が円高ドル安に振れたことやユーロ円建て債券の乗り換えに伴うコストなどが参考指数の騰落率を下回る主な要因となりました。

○1万口当たりの費用明細

(2016年1月27日～2016年11月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 11 (11)	% 0.231 (0.230)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金銭信託支払手数料
(そ の 他)	(0)	(0.001)	
合 計	11	0.231	
期中の平均基準価額は、4,740円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年1月27日～2016年11月24日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	社債券（投資法人債券を含む）	千円 87,483	千円 211,735

(注) 金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年1月27日～2016年11月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年11月24日現在)

有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2016年11月24日現在)

項 目	債 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 120,290	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	120,290	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2016年11月24日現在)

項 目	債 還 時
	円
(A) 資産	120,290,152
コール・ローン等	120,290,152
(B) 負債	1,221
未払利息	171
その他未払費用	1,050
(C) 純資産総額(A-B)	120,288,931
元本	253,615,376
償還差損金	△133,326,445
(D) 受益権総口数	253,615,376口
1万口当たり償還価額(C/D)	4,742円97銭

- (注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.474297円です。
 (注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は133,326,445円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は272,735,909円、期中追加設定元本額は187,922,709円、期中一部解約元本額は207,043,242円です。
 (注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
 コモディティ・インデックスオープン

253,615,376円

○損益の状況 (2016年1月27日～2016年11月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 7,618
受取利息	76
支払利息	△ 7,694
(B) 有価証券売買損益	172,000
売買益	3,419,000
売買損	△ 3,247,000
(C) その他費用等	△ 355,361
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 190,979
(E) 前期繰越損益金	△145,108,110
(F) 追加信託差損益金	△ 97,822,709
(G) 解約差損益金	109,795,353
償還差損金(D+E+F+G)	△133,326,445

- (注) 損益の状況の中で、(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

- ・コモディティ・インデックスオープンが繰上償還となり、コモディティ・インデックス マザーファンドを投資対象とする証券投資信託がなくなることから、投資信託約款の規定に基づき投資信託契約を解約し、2016年11月24日をもちまして繰上償還となりました。